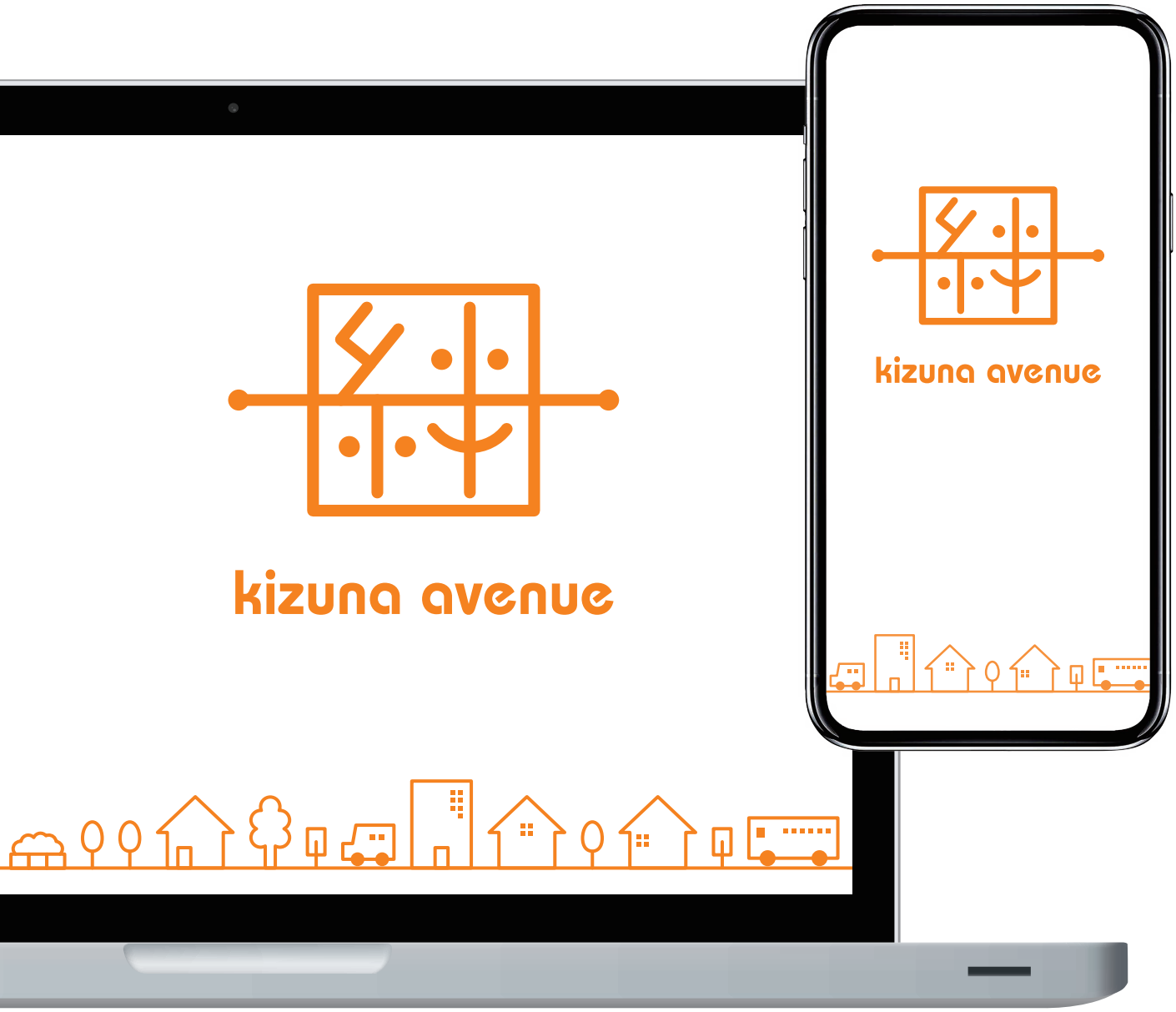
NEXT

オンラインでむすぶ
地域社会との絆



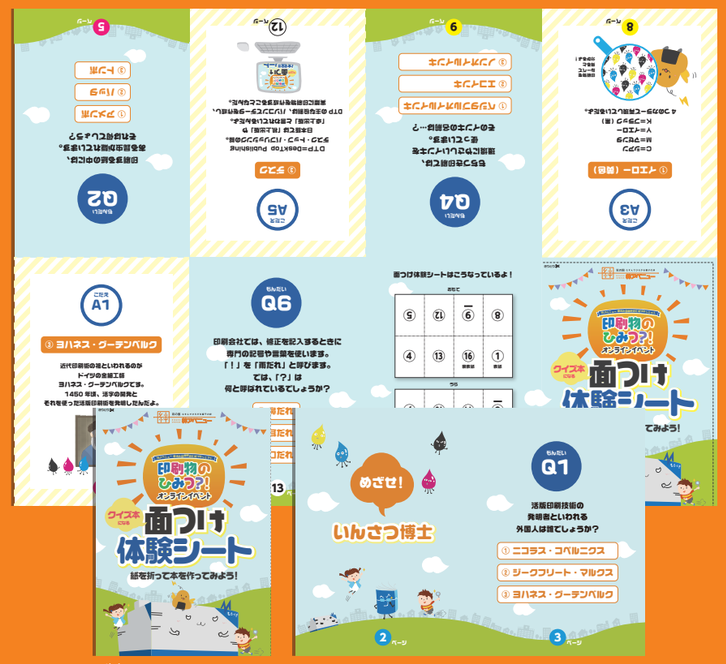
SDGsで
その先の
ステージへ

MOCHIZUKI
SDGs news
vol.04

Mochizuki

オンラインでむすぶ 地域社会との絆

「埼玉」の「家族」を応援する、「埼玉を元気にしていく！」ことを理念に、地域の子ども向けイベントへの出展や、親子で参加できる工場見学の開催など様々な取り組みを行ってきた、望月印刷の地域貢献活動「絆アベニュー」プロジェクト。世の中では新型コロナウイルスが蔓延し、活動の制限や自粛を強いられる中、「今、私たちに出来る事」を考え、オンラインによる「夏休み自由研究応援 印刷のひみつ?!」体験イベントを、2021年8月10日に開催いたしました。



「面つけ体験」プログラムで使ったシートの中身

参加者に郵送した「体験キット」の中身

ペーパークラフトセット

虫眼鏡

「色の不思議体験」シート

「面つけ体験」シート

オリジナルノート

印刷物ができるまでガイドブック

「網点（あみてん）体験」プログラムで使ったシートの中身

ペーパークラフトセットの印刷物を、虫眼鏡で見ていただくことで、印刷物が小さな点（網点）の集まりでできていることを、体験していただける内容です。

虫眼鏡で見た網点の様子

地域との協働

「色の不思議体験」プログラムで使ったシートの中身

オンライン体験イベントの全体フロー

SNS広告で募集 >> 体験キットを事前送付 >> オンラインイベント >> アンケートの回収

- SNS広告で募集：地域や対象年齢などのセグメントを行い効果的に告知。
- 体験キットを事前送付：オリジナルデザインの体験キットで開催までの期待を醸成。
- オンラインイベント：MC、ホスト、ディレクターなど万全の体制で対応。
- アンケートの回収：専用アンケートフォームを作成して参加者のご意見や感想を回収。

コロナ禍だからこそ、地域の人との絆を深めたい

当社では、これまで地域の親子を会社に招いて、印刷物が出来るまでの工程を“楽しみながら学んで、体験してもらう”

2019年に開催した工場見学会の様子

工場見学会を行ってきました。

しかし、昨年は新型コロナウイルスの影響で開催することができませんでした。

まだまだ出口の見えない中、現在も様々な制限や自粛が続いています。

そんな時だからこそ、地域の人たちと繋がりをもって、何か応援する事は出来ないだろうか？ これまでのリアルな工場見学会のように親子で参加できるイベントは出来ないだろうか？ とプロジェクトメンバー全員で考え、「夏休みの自由研究応援」をテーマとした、印刷の不思議を体験してもらうオンラインイベントを開催いたしました。

メンバーの思いが詰まった3つの体験プログラム

体験してもらうプログラムは、「網点（あみてん）体験」「色の不思議体験」「面（めん）つけ体験」の3つとしました。

リアルな工場見学会のように、その場で“見て、触って”もらうことのできないオンラインイベント。参加してくれる親子にどのような“体験”を提供できるかと思いを巡らせました。

そこで出たのが、3つのプログラム用のオリジナル体験シートを、参加者プレゼントと一緒に「体験キット」として予め郵送し、メンバーと参加者が一緒に体験していくアイデアです。

その中からアンケートで人気だった2つのプログラムをご紹介します。

1位が「色の不思議体験」プログラム。カラー印刷が4色で刷られている事を学べる内容です。シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックの4色の透明なOHPシートを、一枚ずつ重ねていくことで、段々とカラー印刷が完成する様子が体験できる仕組みにしました。

2位が「面つけ体験」プログラムです。A3サイズの大きな用紙に印刷された、一見バラバラなページを、決まった法則で折っていくと本になることが体験できます。

うまくできない時には保護者の方に手伝っていただき、親子で協力できる内容にしました。出来上がった本は、“印刷に関係したクイズ本”になっていて、作った後も楽しく学べるようになっています。

「絆アベニュー」の可能性をこれからも広げていきたい

今回のオンラインイベントを通じて得られたのは、コロナ禍という非日常的な制限の中でも、アイデア次第で“地域の人たちとの繋がり”はもてるということ。

イベント終了後、「楽しかったかな？」というMCからの問い掛けに、モニター越しに「体験キット」を持ちながら、手で大きな丸ポーズを作ってくれた子どもたちの笑顔が印象に残っています。

2010年のプロジェクト発足以来、私たちは、様々な取り組みにチャレンジしてきました。これからも「埼玉」の「家族」を応援し、「埼玉を元気にしていく！」ために、「絆アベニュー」の可能性を広げていくことを目指していきます。

「自由研究応援特設サイト」もWEBで公開中!! >>

SDGs TOPICS

VOL. 04

TOPIC

01 地域社会との共創を目指す「絆アベニュー」プロジェクト

望月印刷では、地域の明るい未来づくりを応援する「絆アベニュー」プロジェクトを2010年11月1日より始動。「地域の担い手である子どもたちに、埼玉の魅力を伝える」ことをプロジェクトの大きなテーマとして、親子参加による工場見学会の開催や、地域イベントへの出展、WEBサイトやSNS、観光情報誌による情報発信を行っています。

kizuna avenue

親子工場見学会の開催

毎年夏休み期間に小学校3～6年生を対象に工場見学会を開催。「印刷物ができるまで」を座学・見学・クイズ等を交えながら学んでいきます。

地域イベントへの参加

「ペーパークラフト教室」として各地域の親子向けイベントに出展。親子で力を合わせながら作品を作っていくことで“親子の絆”をむすびます。

WEB・SNSによる情報発信

地元イベント・道の駅紹介等、埼玉の魅力的な情報や、親子の絆を応援するコンテンツを発信しています。

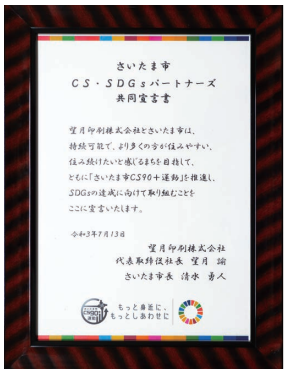
広域連携観光情報誌『motto』

地域の「人」、「食」、「旅」をテーマに、長野県のカシヨ株式会社と新潟県の株式会社第一印刷所とパートナーシップを結び、埼玉・長野・上越の3つのエリアをつなぐ広域連携観光情報誌を年4回発行しています。埼玉の魅力を県内外に発信すると共に、3つのエリアの集客・送客をはかる観光交流を目指しています。
(埼玉、長野、新潟、群馬、石川、富山の「道の駅」を中心に配布)

TOPIC

02 さいたま市CS・SDGsパートナーズ共同宣言

2021年7月13日(火)付にて、市民満足度の向上を目指し、SDGsの達成に取り組む会社として【さいたま市CS・SDGsパートナーズ共同宣言書】をいただきました。
さいたま市では、市民満足度向上のために、「さいたま市CS90＋運動」に取り組まれています。
今年度からは、市民満足度（CS）を高めるとともに、SDGsを達成するため、市民と行政の関わりだけでなく、包括連携協定を締結している企業や、普段から地域活動、まちづくり、スポーツ等を通して市民と繋がりが深い企業・団体の力が不可欠としています。
望月印刷もこの趣旨に賛同し宣言をさせていただきました。
ともに、「住みやすいまち・住み続けたいまち」を目指して取り組んでまいります。


さいたま市
CS・SDGsパートナーズ
共同宣言書

望月印刷株式会社とさいたま市は、
持続可能で、より多くの方が住みやすい、
住み続けたいと感じるまちを目指して、
ともに「さいたま市CS90＋運動」を推進し、
SDGsの達成に向けて取り組むことを
ここに宣言いたします。

令和3年7月13日

望月印刷株式会社
代表取締役社長 望月 諭
さいたま市長 清水 勇人

さいたま市CS・SDGsパートナーズ共同宣言書

つくる、つなぐ、かなえる“グッドスマイルメディア”
望月印刷株式会社
〒338-0007 さいたま市中央区円阿弥5-8-36
TEL.048-840-2111 FAX.048-840-2121
https://www.avenue.co.jp/
EPC-JAPAN加盟 Excellent Printing Community of Japan